

2024年

かわむら小児科

公式 LINE



モ〜モ〜くらぶ



マイコプラズマ感染症について

コロナ禍でしばらく流行がありませんでしたが、8年ぶりに全国でマイコプラズマ感染症が流行しています。

マイコプラズマ感染症はマイコプラズマ・ニューモニエという菌による感染で起こり、気管支炎や肺炎を起こします。症状は発熱(熱が出ないこともあります)、乾いた咳(夜ひどくなります)が主な症状です。咳で菌が飛んで口から入ってうつります。潜伏期は2週間ぐらいあります。

通常、マクロライド系の抗生剤(クラリスロマイシンやアジスロマイシンなど)が効果がありますが、今年はその効かない菌も多いです。その場合はミノマイシンやトスフロキサシンといった抗生剤を使ったり、ステロイド剤を追加したりします。今年の傾向を診ているとトスフロキサシンも効きにくい印象があります。ミノマイシンはよく効きますが歯が黒くなった(永久に残る)ので8歳未満の子には使わないようにとされています。

検査方法は、以前は血液検査で抗体価を測っていましたが、結果が出るのに時間がかかる、初期では陽性に出ないことがある、逆にかなり前の感染でも陽性に出るなど不便なことがありました。近年、のどから綿棒でマイコプラズマの菌を直接調べるLAMP法や鼻の奥(のどの上の方)を検査する検査キットが開発され、簡易に正確で早くに検査ができるようになりました。当院では迅速検査キットを使用しています。

予防としては、手洗い、うがい、咳でうつる病気なので感染者はマスクなど咳エチケットをして他の人にうつさないようにすることです。

インフルエンザ予防接種の
予約を開始しました

<http://www.0834320535.com/i/>

寝起きの目やにが多い

乳児期の眼脂(目やに)の原因としてもっとも多いのは鼻涙管の閉塞や狭窄によるものです。たまった涙は鼻涙管を通して鼻に抜けていきますが、閉塞することで目に涙がたまりやすくなりこれが眼脂となります。

このような症状は目頭の付け根を指でマッサージすることで1歳までにほぼ治癒するとされています。

一方、眼脂で受診が必要なケースは、白目の部分が充血している場合です。病気が隠れている場合があるので受診しましょう。

(マーチ)

.....感染症情報(9月1日現在).....

- ★手足口病、ヘルパンギーナという夏かぜが相変わらず流行しています。
- ★新型コロナもまだ少しずつ見られます。
- ★インフルエンザはほとんど見られなくなりました。

さつまのおいも

文: 中川ひろたか
絵: 村上康成



おいもは土の中で暮らしています。ごはんも食べるし歯も磨きます。みんなでトレーニングをしていもほりに来た子どもたちと勝負します。勝つのはどちらでしょうか？

季節を感じられる楽しい絵本です。(ピノ)

休診のお知らせ

9月6日(金)・9月7日(土)
9月28日(土)